

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

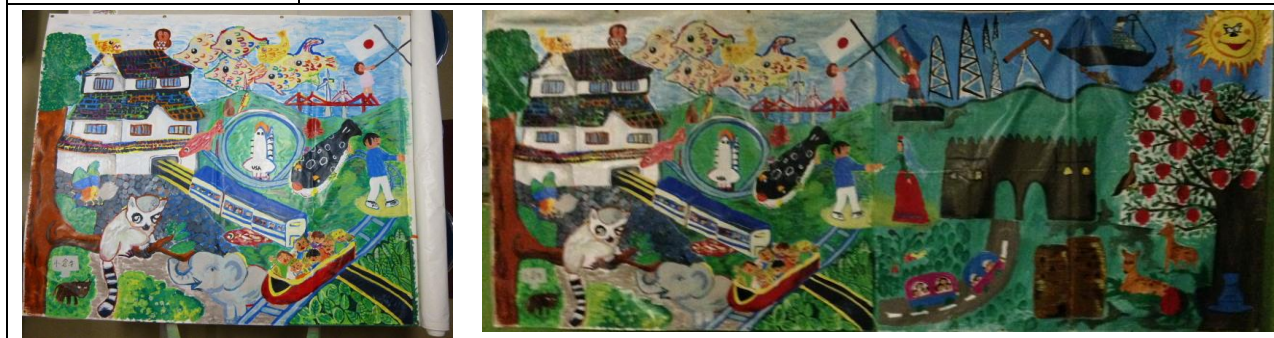
日本学校名 [北九州市立泉台小学校] 担当教諭名 [前田綾子・諸藤三代子] (5年1・2組 46名)
 交流相手国 [アゼルバイジャン]
 海外学校名 [Ankara Lyceum] 担当教諭名 [Tamilla Namatova]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	知らない国をのぞいてみよう	24
	図画工作	図画工作で学んだことを生かして	8
	外国語活動	英語で自己紹介をしよう	4

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	「わたしたちが誇る、わたしたちの国・まち」
絵に込めたメッセージ	「国・まちのよさや特徴を伝え合おう」という共通のテーマのもと、お互いに自分たちが住む地域の自然や建物等、相手に伝え、知ってほしいと思うよさ、特徴を描きました。「わたしたちの住む街の自慢です。」という思いです。そして、知らなかった国の子ども同士が知り合い、手を取り合って仲良くしていきましょうというメッセージをこめました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 改めて自分たちの住む地域の特色・よさを見つめ直すことができた。 ○ 相手国から返ってきた絵を見て、言語は違っても一つの絵を協働してつくりあげることで、気持ちは通じ合うということを感じ、喜びと達成感を得ることができた。 ○ どこにあるのか、どんな国なのか、名前さえも全く知らなかった国の子どもたちと、対話したり協働で絵を描いたりすることを通してつながりをもつことで、今、同じ時間をともに生きている人が世界中にいることを実感し、世界に視野を広げてものを考えるきっかけとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事に追われ、教師間の情報交換が後手に回ってしまった。計画当初はSkypeでの通信を複数回行う予定だったが、1回のみで終わってしまったことが残念だった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ○ 3学期修了式で、全校児童への報告を行った。 ○ 地元の新聞社に取材に来てもらった。 ○ 学校通信に掲載し、HPにアップすることで、保護者や地域の方に広報した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 完成した絵を見た保護者や地域の方々から、「こんなことができるなんて子どもたちはすばらしい。」「地域の特色をよく表現している。」「子どものうちにこうした経験ができることは貴重で価値がある。」と絶賛の言葉をいただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	○ 相手国の地図上の位置、気候、言葉などの基本情報を得た。 ○ 英語で自己紹介をし、その様子をビデオレターとして相手国に郵送した。	○ 相手国の場所も名前も知らない児童がほとんどだったが、意欲的に活動しようとする様子が見られた。	総合4 外国語4
情報収集	10月	○ 相手国から送られてきたCD-ROMや、インターネット等で情報を集めた。	○ 日本には無い文化に触れ、驚きや感動を覚えていた。世界には自分たちが知らない文化がたくさんあるということに興味を示していた。	総合6
テーマ検討	11月	○ 絵の構成をフォーラムにて提案し、テーマや構図、分担について意見交換した。	○ 一人一人が描きたいものを考えることで、自分たちの住む地域の文化を見つめ直すことができた。 ○ できるだけ全員の意見を絵に取り入れようと意見を交流していた。	総合6
制作	12月	○ 絵に描く事柄を決め、地域のイラストレーターと一緒に下絵をつかった。 ○ いくつかのグループに分かれて絵を制作した。	○ 地域に住むイラストレーターと出会い、デザインの仕方や道具の使い方を熱心に学んでいた。 ○ 遠近感や立体感を出すための工夫を積極的に取り入れていた。	総合6 図工8
鑑賞	2月 3月	○ 共同制作した絵を鑑賞した。	○ 相手国の児童が、自分たちの描いた絵の内容を受けて、つながりをもって描いてくれていることに「気持ち伝わった。」という感動を覚えていた。 ○ 自分たちの活動を振り返り、達成感を味わっていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	改めて自分達の住む地域の特色・よさを見つめ直すことができ、自信と誇りをもつことができた。
異文化の理解	B	4	世界には自分たちが知らない文化がたくさんあるということに興味を示し、視野を広げてものを考えたり意見を述べたりしていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	英語で自己紹介をする際、ALTの指導をよく聞いて発音などの練習を重ね、伝えたいことをより明確にするための方法(絵やジェスチャー等)を模索していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	相手国から送られてきたCD-ROMや、インターネット等で情報を集めた。Skypeでの通信やビデオレターで自文化を発信できた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	一つのテーマに向かって、できるだけ全員の意見を絵に取り入れようと意見を交流し、一つの作品としてまとめる努力をしていた。絵に表されたことから相手の思いを読み取ろうとしていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	自分の役割をしっかりと把握し、最後まで責任をもって取り組むことができた。協力して制作活動ができていた。
学習を追究する意欲	B	4	最後まで相手国への興味が持続していた。活動が終わることを残念に思い、まだ交流を続けたいという姿が見られた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	地域のイラストレーターの方にアドバイスをもらいながら、自分たちの住むまちの特徴をどう表現すればよりよく伝わるかよく考えていた。
作品を鑑賞する力	B	5	相手の絵を見て、自分たちの思いが伝わった喜びを感じたり、「ここに描かれている建物はなんだろう。」などの疑問点を出し合ったりして、盛んに感想を述べ合い話し合っていた。